

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十八年九月度 入選句（投稿総数二千二百六十一句・小中学投句数千六百二十句）

特選

夏木 立空にむかつてせのびする 大垣市 近藤 百華(小六)

今年の夏も猛暑の毎日でした。水門川沿いの木々は、暑さに負けず葉を繁らせ、枝を広げて力強く立っています。その姿は、まぶしい太陽の光をあびながら、どんなことにも一生懸命立ち向かう作者の姿と重なります。「空に向かつて」の中七と「せのびする」の下五が勢いをつけていますね。読み手も希望がわいてくるような明るい句です。

かけつこでころんでないたうんどうかい 大垣市 新井 日葵(小三)

小学生になって三回目の運動会ですから、きつと楽しいことがいっぱいあったことでしょう。かけつこで自分の番が近づいてくる時のドキドキ感まで伝わってきます。ようお願いの合図で、力一杯走る姿が目に見えます。ころんだ後も立ち上がって歯をくいしばって走ったことでしょう。「ころんでないた」の中七に作者の頑張りが見て取れます。忘れられない運動会になりましたね。

すいかだよばあばのこえでめがさめた 大垣市 渡邊 ひかる(小四)

おばあちゃんの畑には、いろいろな夏野菜が実っているでしょう。中でもすいかが自信作の一つなのかもしれませんね。夏の午後、昼寝をしていた作者を起こしたのは、おばあちゃんの元気な声と明るい笑顔と大きなすいかでした。「ばあばのこえで」の中七から、読み手が楽しいことや明るいことを広げることのできる素敵な句です。

秀逸

青空に命のさけびせみの声 大垣市 早野 恵滉(小六)

ばしょうぞう青葉のやねでひとやすみ 大垣市 谷崎 穂乃花(小六)

せみのこえくぐりぬけたらおおがきじょう 大垣市 おおぜき あやか(小二)

せみがなく体感温度は二割り増し 美濃加茂市 マリアノ・ネルリ(中二)

滝のよう流れる汗もかっこいい 美濃加茂市 後藤 久留弥(中三)

あいさつといっしょにひびくセミの声 大垣市 伊藤 穂乃花(小六)

とれたてだおやつのトマトまるかじり 大垣市 杉田 圭祐(小二)

とんぼさんゆびにとまってくれるかな 大垣市 かわ村 れん太ろう(小二)

スイカわり右か左かまん中か 大垣市 大橋 叶夢(小四)

まん開のひまわり畑かけぬける 大垣市 奥田 真央(小四)

入選

まっかだなぷちぷちしてるとまとなかな	大垣市	今津 茉友子(小二)
石段の青葉すかして高い空	大垣市	高木 菜摘(小六)
夏川にこいが顔だし呼んでいる	大垣市	中野 公耀(小六)
夏の空見あげる芭蕉にこやかだ	大垣市	井上 詩乃(小六)
青葉のび見えかくれする川灯台	大垣市	鵜飼 麻央(小六)
紅葉が私の気持も変えて行く	美濃加茂市	荻谷 歩花(中二)
祖母の味黄色と白のくりごはん	美濃加茂市	山口 純奈(中二)
思い出は最後の花火でしめくくる	美濃加茂市	林 亮佑(中二)
田を守る動かぬヒーローかしかな	美濃加茂市	片田 雄大(中二)
分かるよう迎え火立てて祖母を待つ	美濃加茂市	小木曾 凜(中三)

入選

運動会 心臓の音声になる	大垣市	臼井 梨乃(小六)
あきのそらくものかたちがかわったね	大垣市	竹中 洸翔(小二)
くうきぬきまたらいねんねうきぶくろ	大垣市	おおぜき はやと(小二)
まん月のうさが見えるぼうえんきょう	大垣市	はつとり こうだい(小二)
おとうとといっしょにおどるぼんおどり	大垣市	よこかわ 海瑠(小二)
どんぐりがぼくのあたまにコロコロリ	大垣市	清水 優斗(小三)
コスモスのかげにかくれて母さがす	大垣市	森内 悠央(小三)
大量のせんたくたたみ夏休み	大垣市	川瀬 未祐(小四)
空見上げかき氷の雲見つけたよ	大垣市	川瀬 桃愛(小五)
夏空へカーンと一発ホームラン	大垣市	高木 康作(小五)

選者吟

秋祭り太鼓のばちを高々と

佐知子